

平成30年2月 定例教育委員会 会議録

1. 日 時 平成30年 2月16日(金) 開会 15時30分 閉会 16時58分

2. 場 所 福井市役所8階第3委員会室

3. 出席者

教育長	吉川 雄二
教育長職務代理者	佐藤 藤枝
教育委員	木村 敦子
教育委員	春木 伸一
教育委員	多田 和博
<事務局職員>	
教育部長	村田 雅俊
少年対策参事官	北川 登
教育次長	齊藤 正直
生涯学習室長	桑原 浩明
図書館統括館長	渡邊 智洋
教育総務課長	久々津 久和
保健給食課長	川上 順子
青少年課長	下山 博幸
スポーツ課長	村西 正明
文化財保護課長	天谷 賢一
図書館長	渡邊 正英
みどり図書館館長	吉村 瞬潤
桜木図書館長	道佛 浩二
調整参事	大久保 容子
教育総務課副課長	前川 昌司
学校教育課主任	岩佐 吉哲
教育総務課主幹	吉田 浩一

4. 議 題

議 事

第16号議案 市議会定例会提出議案(平成29年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて

第17号議案 市議会定例会提出議案(平成30年度福井市一般会計当初予算)に同意することについて

第18号議案 市議会定例会提出議案(福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について)に同意することについて

報 告

(1) 福井市立図書館リニューアル事業基本構想について

5 . 議事の経過

(1) 開会、教育長あいさつ

(2) 会議録署名委員の指名 佐藤 藤枝 委員 多田 和博 委員

(3) 議事の要旨

吉川教育長	まず、第 1 6 号議案 市議会定例会提出議案(平成 2 9 年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて、事務局から説明を求める。
事務局 (教育総務課長)	一般会計補正予算として国の補正予算を活用し、安全安心で快適な学校環境を確保するため、外壁落下防止対策事業として 1 8 7 , 0 2 7 千円、窓ガラス飛散防止対策事業として 2 8 , 3 9 0 千円、学校トイレ整備事業として 2 8 , 3 0 9 千円の増額補正を行うものである。
吉川教育長	ただ今の説明について、ご意見ご質問はないか。
多田委員	国の補正予算は使途が決まっているのか。また助成の割合は違うのか。
事務局 (教育総務課長)	国においても補正予算を計上しており、その中の文部科学省の補助メニューに乗る形で、本市においても補正予算での対応となる。なお、補助メニューによって補助率は異なる。
春木委員	今年の 3 月末までに工事を終えなければいけないのか。
事務局 (教育総務課長)	繰越の手続きをとるので、3 月中に工事を終える必要は無い。
吉川教育長	他に何かないか。 特に意見なし
吉川教育長	それでは、第 1 6 号議案 市議会定例会提出議案(平成 2 9 年度福井市一般会計補正予算)に同意することについて、原案のとおり同意することでご異議ないか。 異議なしの声
吉川教育長	第 1 6 号議案を原案のとおり同意する。

吉川教育長

次に第17号議案 市議会定例会提出議案(平成30年度福井市一般会計当初予算)に同意することについて、事務局から説明を求める。

事務局
(教育部長)

まず、予算編成の基本的な考え方であるが、本市の平成30年度予算編成にあたっては、第七次福井市総合計画に掲げる将来都市像「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」の実現、福井しあわせ元気国体・障害者スポーツ大会の成功に向け、歩みを止めることなく施策の着実な推進を図ることを基本とした。また、平成31年4月の中核市への移行、平成34年度の北陸新幹線福井開業を見据えて、観光・産業・まちづくりなど様々な取組の成果をさらに伸ばすとともに、多様化する地域の課題などにスピード感を持って取り組むこととした。

こうしたことを踏まえ、将来にわたり持続可能な財政基盤を構築するために、財政健全計画に示した財政運営方針に基づく取組や、行財政改革を進めるとともに、これまで以上に無駄を省くことで歳出のスリム化を行い、予算の重点的・効率的な配分に努める予算編成を行うこととした。

平成30年度福井市一般会計の歳出予算(案)であるが、平成30年度予算額の合計は1,052億9,000万円で、前年度比2.90%の減となっている。うち教育費の総額は107億4,387万円で、前年度比16.78%の増、一般会計に占める教育費の割合は10.20%である。

次に教育費の歳出予算(案)であるが、まず、第1項 教育総務費、本年度予算額9億4,396万円で、前年度比0.86%の減。これは主に私立幼稚園就園補助金の減少によるものである。次に、第2項 小学校費、本年度予算額14億2,477万円で、前年度比5.11%の増。これは主に順化小学校・順化公民館複合化関連事業によるものである。次に、第3項 中学校費、本年度予算額6億7,296万円で、前年度比10.47%の増。これは主に足羽中学校校庭整備工事によるものである。次に、第4項 幼稚園費、本年度予算額1億2,037万円で、前年度比20.05%の減。これは主に東藤島幼稚園の認定こども園化に伴う諸経費の減少によるものである。次に、第5項 社会教育費、本年度予算額30億1,306万円で、前年度比4.04%の増。これは主に順化小学校・順化公民館複合化関連事業によるものである。次に、第6項 社会体育費、本年度予算額26億9,096万円で、前年度比101.11%の増。これは主に国体関連費用の増加によるものである。次に、第7項 保健給食費、本年度予算額18億7,776万円で、前年度比1.09%の減。これは主に学校給食センターでの調理食数の減少に伴う、賄い材料費等の減少によるものである。

なお、予算の主要事業については各所属からご説明を申し上げる。

以下、各所属長から概要説明

吉川教育長

ただ今の説明について、ご意見ご質問はないか。

佐藤委員

図書購入費は幾らくらいなのか。

事務局 (図書館統括館長)	平成30年度の図書購入費は約7,100万円である。
春木委員	図書購入は減少傾向にあると聞くと、どうなのか。また出版業界から文庫本の購入は控えてくれとの意見もあるがどうか。
事務局 (図書館統括館長)	ご指摘の通り図書購入は減少傾向である。文庫本の購入については、文庫本はその大きさから、持ち歩きに便利という利点がある。出版業界からそういった意見があるのは承知しているが、市民の皆さんに利用していただくための図書館であることから、文庫本の購入を控えることは考えていない。
多田委員	学校給食センターで私立保育園や幼稚園の給食を依頼することは可能なのか。
事務局 (保健給食課長)	私立は対象外である。
春木委員	教員業務支援事業について、学校運営支援員や部活動指導員はどのような方になっていて、どれくらいいるのか。
事務局 (学校教育課主任)	学校運営支援員については主に地元の方に協力いただいております、人数は50人前後。部活動指導員については主に教員OBをお願いしており、人数は4名である。
春木委員	部活動指導員に対しての教育はどのようにしているのか。
吉川教育長	部活動指導員は教員と同じように引率などが可能になるが、研修は特に行っていない。外部指導員については県主催の研修が年2回ある。
木村委員	一般会計の総額は減少している中で教育費が増加しているのは、国体開催に関する経費が増加しているためか。
事務局 (教育部長)	教育費が増加したのは国体開催経費のほか、学校トイレやグラウンドの改修工事などがある。一般会計の総額が減少しているのは、駅前再開発や市役所別館改修工事などの経費が減少したためである。
木村委員	大安寺建造物修理事業について、国や県からの補助は無いのか。
事務局 (文化財保護課長)	総事業費は1,500万円で国が75%補助し、その残りを3等分する形で(市負担分を)予算計上している。

事務局 (教育部長)	大安禅寺が事業主体であるため、国や県それぞれから直接補助金が交付されることから、このような予算計上となっている。
多田委員	昨年の台風による校舎の修繕などは災害復旧費を使うのか。
事務局 (教育総務課長)	教育費の中の修繕費を使っている。
多田委員	民間だと火災保険があるが、市有施設ではそのような保険はあるのか。
事務局 (教育総務課長)	市有施設も同様な保険には加入している。昨年 10 月の台風による学校施設の被害は約 1,700 万円であったが、保険の対象となったものは市の収入として いる。
佐藤委員	学校運営支援員は児童生徒を指導することはできるのか。
吉川教育長	児童生徒を指導することはできない。できるのは事務的な業務のみであるが、 その代わり教員免許も必要ない。
吉川教育長	他に何かないか。
	特に意見なし
吉川教育長	それでは、第 17 号議案 市議会定例会提出議案(平成 30 年度福井市一般会 計当初予算)に同意することについて、原案のとおり同意することでご異議ない か。
	異議なしの声
吉川教育長	第 17 号議案を原案のとおり同意する。
吉川教育長	次に第 18 号議案 市議会定例会提出議案(福井市少年自然の家の設置及び管 理に関する条例の一部改正について)に同意することについて、事務局から説明 を求める。
事務局 (青少年課長)	福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について、施設の 利用者数の増加と有効活用を図るため、使用者の範囲の拡大や、新たな料金設定 を規定するものである。 福井市少年自然の家は、近年の少子化による青少年団体の活動低迷により、利 用者数が年々減少している。一方で国や県の類似施設では、このような状況に対 応するため、青少年団体以外の団体受け入れを始めており、本市としても、当施

設の耐震補強工事の完成を契機に関係条例の一部改正を行い、利用者数の増加と施設の有効活用を図る。

吉川教育長

ただ今の説明について、ご意見ご質問はないか。

春木委員

利用拡大のためのPRは、どのような団体に行っていくのか。

事務局

(青少年課長)

婦人会や老人会、公民館のサークルなどにもPRをやっていく。

春木委員

高校や大学はどうか。

事務局

(青少年課長)

高校や大学は青少年団体ということで、以前からPRを行っている。

吉川教育長

外部のスポーツ少年団などが利用することは、現在は可能なのか。

事務局

(青少年課長)

可能だが、1人あたりの料金計算となる。改正後は1団体あたりの料金計算となり、割安で利用可能となる。

木村委員

(建物の) 名前を変更することは考えていないのか。

事務局

(青少年課長)

少年自然の家設置の趣旨から考えて、名前を変えることは考えていない。また、そういった事例も無い。

事務局

(教育部長)

福井市美術館の「アートラボふくい」のように、愛称は可能だと思う。

吉川教育長

他に何かないか。

特に意見なし

吉川教育長

それでは、第18号議案 市議会定例会提出議案(福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例の一部改正について) に同意することについて、原案のとおり同意することでご異議ないか。

異議なしの声

吉川教育長

第18号議案を原案のとおり同意する。

吉川教育長

次に報告事項に移る。報告(1) 福井市立図書館リニューアル事業基本構想に

ついて、事務局から説明を求める。

事務局
(図書館統括館長)

福井市第7次総合計画に基づき、福井市立図書館リニューアル事業の目指すべき方向性である基本構想がまとまったので報告させていただく。

福井市立図書館は昭和51年に開館し、蔵書冊数約451,000冊、また越前松平家から寄贈された貴重な古書も多く所蔵しているのが市立図書館の特徴である。一方で施設の老朽化も著しく、蔵書を保管するスペースも無くなってきたことから、リニューアル事業を進めるものである。

以下、資料に基づいて概要を説明

吉川教育長

ただ今の報告について、何か質問等はないか。

春木委員

建物の設計はコンペ方式で行うのか。

事務局
(図書館統括館長)

平成30年度に基本計画を策定してからの話なので、現在は決めていない。

吉川教育長

今ならいろいろな意見を取り入れることはできるのか。

事務局
(教育部長)

今から基本計画を策定するので、基本構想の趣旨に沿っていれば意見を取り入れることは可能である。

吉川教育長

他に何かないか。

特に意見なし

吉川教育長

予定していた審議事項は以上であるが、他に何かないか。

事務局
(教育総務課長)

先月の1月定例教育委員会において次回の総合教育会議の進め方について説明させていただいた。本日の教育委員会では事前協議を考えていたが、大雪への対応を優先し、本日の事前協議は取り止めとさせていただきたい。

資料等については会議前に配布し、個別に事前説明させていただくので宜しくお願いしたい。

多田委員

図書館に関連してだが、今回の大雪で期限までに本を返せない方には、どのように対応したのか。

事務局
(図書館統括館長)

お電話をいただいた時点で、通常の延長から更に2週間の延長をかけたり、督促状を送付しないなどの対応をとった。なお、予約が入っている本については、次のお客様もいるのでなるべく早く返却いただくようお願いした。

多田委員	学校給食について、今回の大雪による休校に伴い、献立等が変更になったと思うが、配送業者は大雪の中でも食材の引き取りや変更後の配送など、決められた日時に合せて運んでいる。このような状況の時は、（配送方法などを）もう少し臨機応変に対応してもいいのではないか。
事務局 （保健給食課長）	おかげさまで配送業者のご尽力により、学校給食は止まることなく供給が出来た。食材のうち、既に納入されたものについては献立変更で、買い取りすべきものは買い取りでそれぞれ対応した。大雪時の配送方法等については、今後の課題として検討していきたい。
吉川教育長	最後に事務局から次回の日程についてお願いする。
事務局 （教育総務課副課長）	次回の定例教育委員会について、3月26日（月）午後3時から、場所は本日と同じ福井市役所8階第3委員会室にて開催するので、ご出席いただきたい。
吉川教育長	以上をもって会議を終了する。

平成30年3月26日

署名委員 佐藤 藤枝

署名委員 多田 和博

会議録作成職員 吉田 浩一